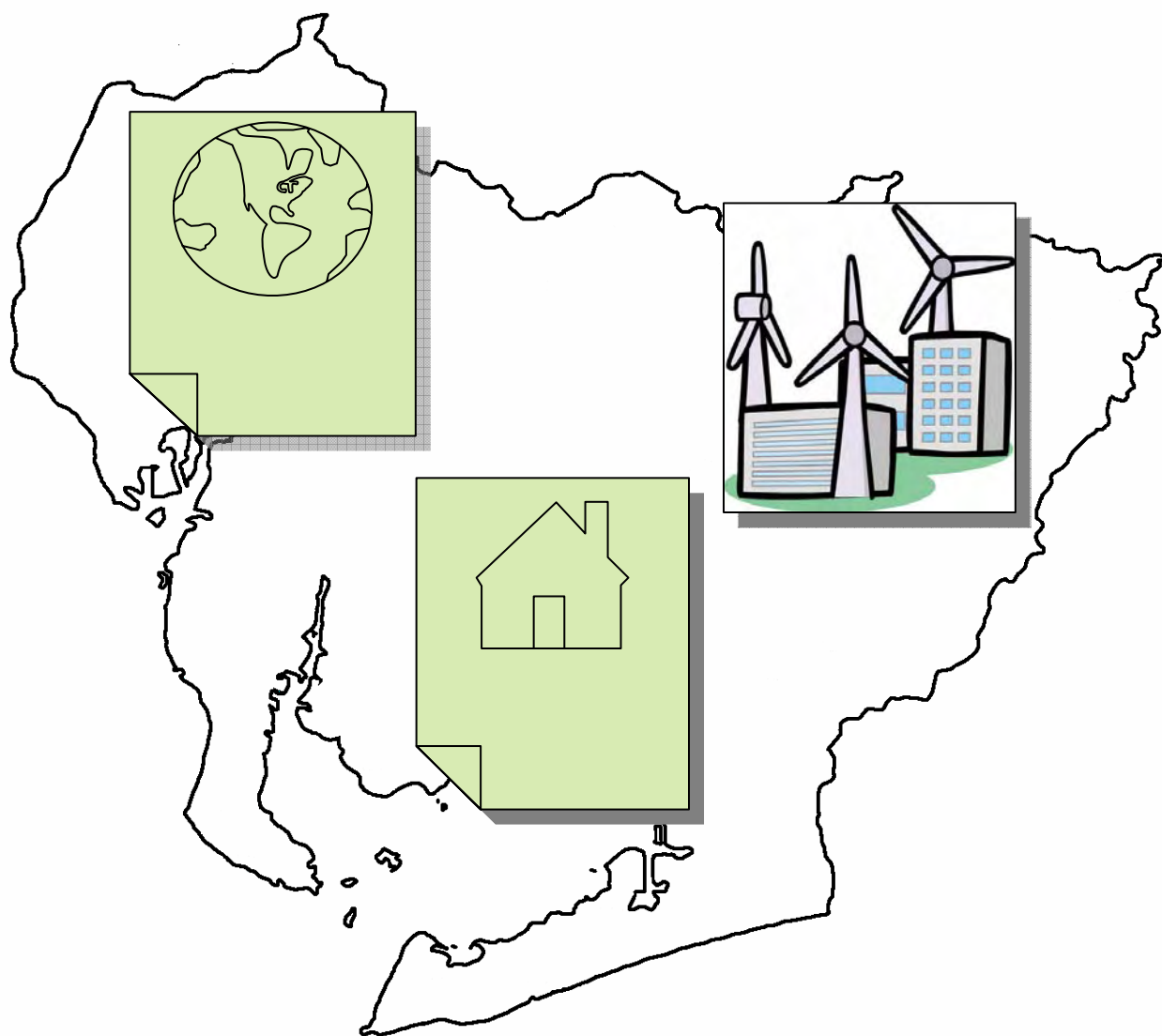


あいち地球温暖化防止戦略

～脱温暖化！ 待ったなしの行動計画～

概要版



1 地球温暖化を取り巻く状況

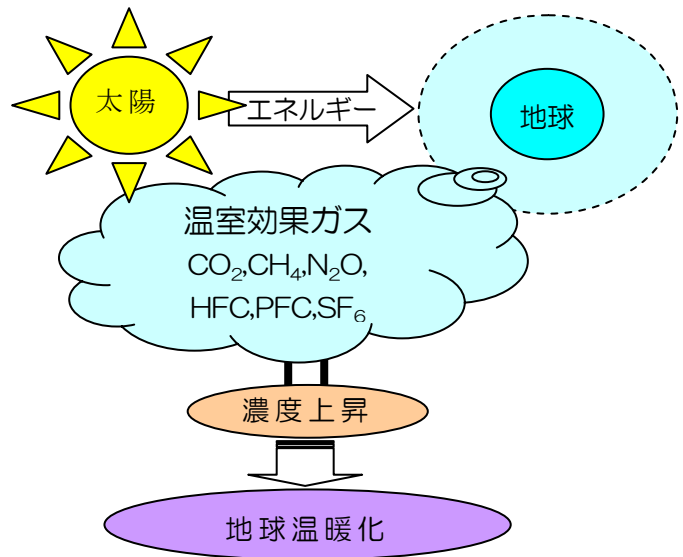
地球温暖化とは

地球は、太陽からのエネルギーで暖められます。暖められた地球が放出する熱（赤外線）を、大気に含まれる二酸化炭素などの温室効果ガスが吸収し、対流圏の大気を暖めています。このため、地球の平均気温は現在 15℃前後と、人間をはじめ生物が生きるのに適した環境が保たれています。

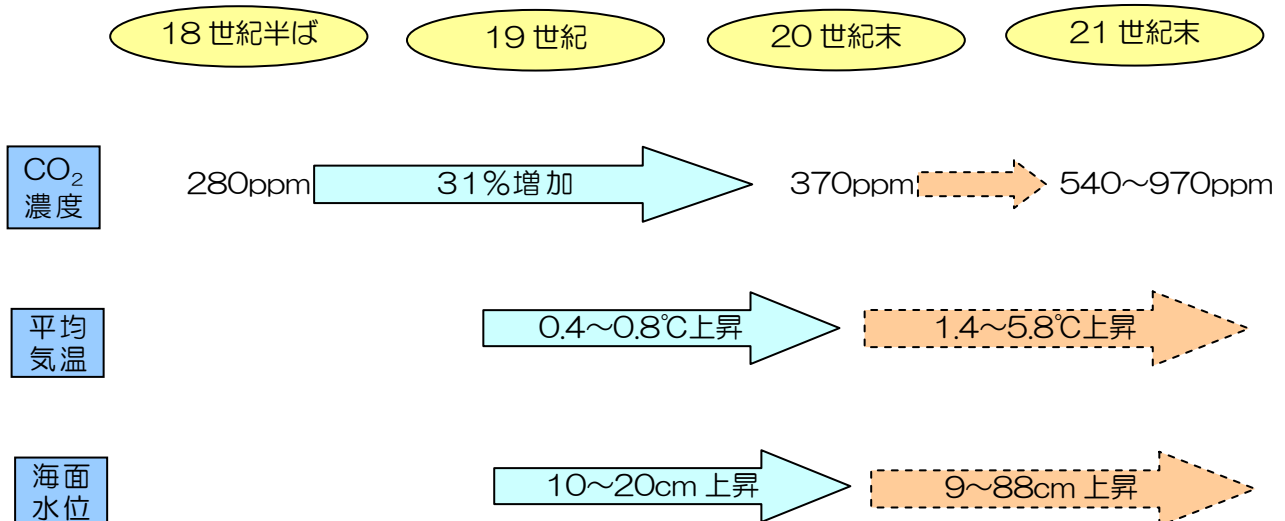
しかし、18 世紀後半から始まった産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃焼して使うことで、大量の二酸化炭素を出すようになりました。

このため、近年、大気中における二酸化炭素濃度が高まり、熱の吸収が増え続け、それに伴い気温が上昇し、地球温暖化が進行しています。

このまま地球温暖化が進めば、将来の人類だけでなく、生態系全体に重大な影響を及ぼす恐れがあります。



地球温暖化の影響

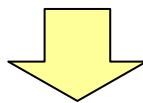


洪水、熱波等の異常気象、旱魃の増大、マラリア等の感染症の拡大、一部の動植物の絶滅、穀物生産量の減少、水資源への悪影響など

※IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第3次評価報告書（2001年）より

地球温暖化対策の近年の動向

月	世界	日本	愛知県
92	5	「気候変動枠組条約」採択	
	6	地球サミット(ブラジル) [「気候変動枠組条約」署名開始(日本を含む155カ国が署名)]	
94	3	「気候変動枠組条約」発効	「あいちエコプラン21」策定
97	3		「あいちエコエネルギー導入ビジョン」策定
	6	経団連「環境自主行動計画」策定	
	12	COP3(気候変動枠組条約第3回締約国会議) [「京都議定書」採択] 「地球温暖化対策推進本部」設置	
98	3		「あいちアクションプラン」策定(県庁行動計画)
	6	「大綱」(地球温暖化対策推進大綱)策定 [2010年目標の当面の対策措置]	
99	4	「地球温暖化対策推進法」施行	
00	3		「あいちエコプラン2010」策定
	9	IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第3次評価報告	
01	10	COP7 [マラケシュ合意[運用ルール(京都メカニズム、吸収源、遵守制度等)]]	
02	3	「大綱」改定 [2010年目標の追加的対策措置]	
	6	「京都議定書」締結(受諾)	
	10		「あいち新世紀自動車環境戦略」策定
03	3		「県民の生活環境の保全等に関する条例」公布
	9		愛知県地球温暖化防止活動推進センターを指定
04	1		地球温暖化防止活動推進員を委嘱開始
	4		「地球温暖化対策計画書」提出制度開始
05	1		『あいち地球温暖化防止戦略』策定
	2	「京都議定書」の発効	改正「地球温暖化対策推進法」全面施行
			「京都議定書目標達成計画」策定



待ったなしの行動 = 戦略の推進



本県の温室効果ガス排出の現状と課題

★本県における温室効果ガスの排出実態

		基準年度 排出量 (千トン-CO ₂)	2001年度 排出量(割合) (千トン-CO ₂) (%)	増加率 (1990→2001) (%)	
				区分内	
エネルギー 起源 CO ₂	産業	42,711	40,762 (53.9)	▲ 4.6	+6.1
	民生(家庭)	7,315	9,282 (12.3)	+ 26.9	
	民生(業務)	8,381	10,521 (13.9)	+ 25.5	
	運輸	10,915	13,515 (17.9)	+ 23.8	
	エネルギー転換	1,481	1,577 (2.1)	+ 6.5	
	小計	70,803	75,657 (100.0)	+ 6.9	
非化石起源CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O		3,458	4,480		+1.3
代替フロン等3ガス		5,169	3,816		▲1.7
合計		79,431	83,953		+5.7

※基準年度：1990年度（ただし、代替フロン等3ガス＝HFC、PFC、SF₆は1995年度）

○2001年度における温室効果ガスの総排出量は、5.7%増加（基準年度比）

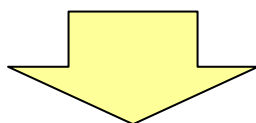
○総排出量の約90%を占める「エネルギー起源CO₂」の増加率が高い（6.1%）

産業部門 ⇒ 自主行動計画の推進、省エネ対策の進展等により、全体としては減少基調（▲ 4.6%）にあるが、排出量全体に占める割合（53.9%）が高い

家庭部門 ⇒ 世帯数の増加や家電製品の保有台数の増加・大型化等により大幅な増加（+26.9%）

業務部門 ⇒ 業務床面積の拡大、商業施設（スーパー、コンビニ等）の大量出店等により大幅な増加（+25.5%）

運輸部門 ⇒ 自動車保有台数の増加や大型化等により大幅な増加
(+23.8%)



「エネルギー起源CO₂」を中心に効果的な対策が必要

2 戦略の策定

戦略策定の考え方及び将来目標

戦略策定の考え方

- 施策・事業について、実効的な手法や仕組みによる具体的かつ重点的な展開、数値目標等を組み込んだ計画的な推進
- 先進的・先導的な取組について、「あいち eco モデル」として全国に発信
- 国等の補助制度の積極的な活用を進める仕組みの導入
- 法に基づく「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」、「愛知県地球温暖化防止活動推進員」、「地球温暖化対策地域協議会」の活用・展開

将来目標

脱温暖化社会・持続可能な社会の構築

長期目標

2010年度における温室効果ガス排出量の基準年度比6%削減

短期目標

① 省エネの徹底

② 新エネルギー・未利用エネルギーの導入の大幅拡大

③ 天然ガス・水素燃料へのシフト

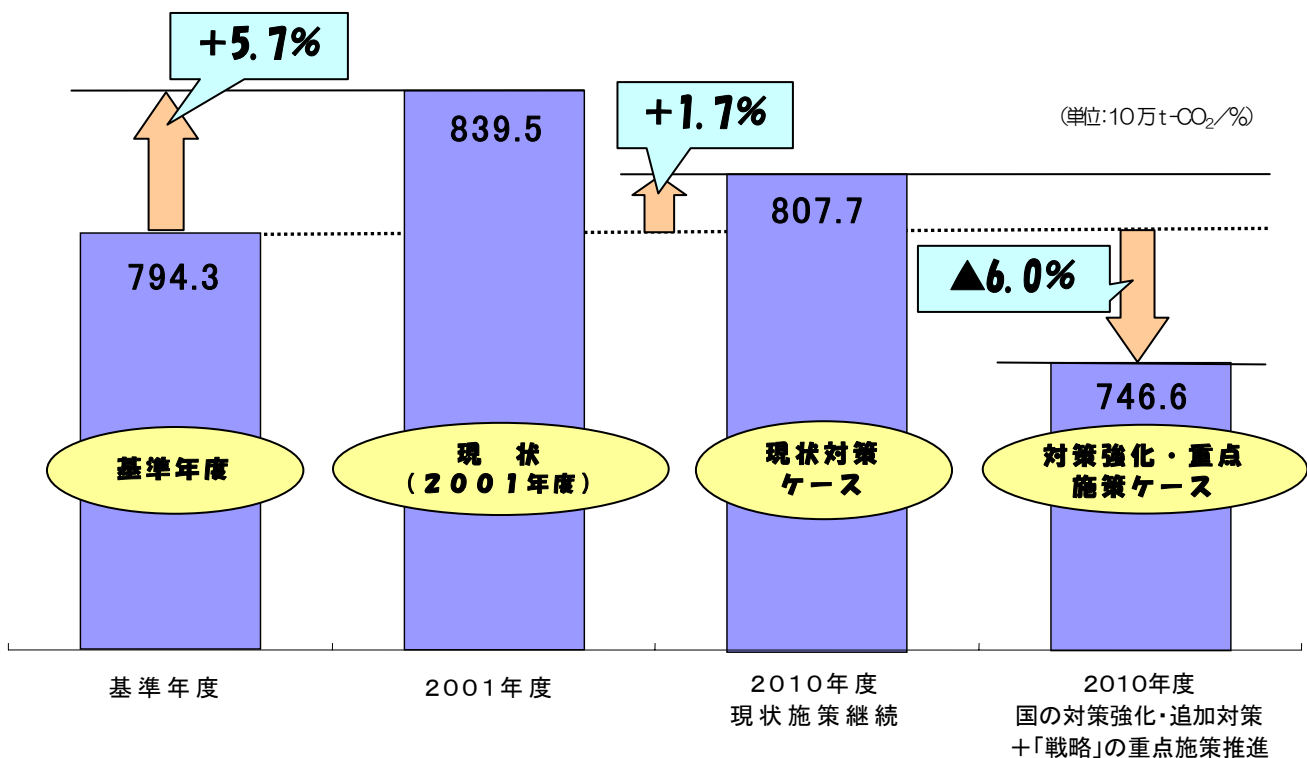
④ 森林の整備・保全と緑化の推進

⑤ 自主的行動・協働の促進

目標達成のための対策の柱

3 県内の温室効果ガス排出量の現況と将来推計

○ この「戦略」における重点施策を推進し、国による対策強化及び追加対策・施策を講じた場合の 2010 年度における温室効果ガス排出量は、基準年度比▲6%の目標達成が可能であると見込まれます。



本県における温室効果ガス排出量の現況と将来

(単位:10万t-CO₂/%)

部 門	基準年度	2001年度	現状対策ケース		対策強化・重点施策ケース		
			2010年度	増加率(%) 区分内	2010年度	増加率(%) 区分内	
エネルギー起源CO ₂	産 業	427.1	407.6	411.5	▲3.7	384.8	▲9.9
	民生(家庭)	73.2	92.8	84.2	15.0	75.9	3.7
	民生(業務)	83.8	105.2	98.2	17.2	88.0	5.0
	運 輸	109.2	135.2	132.9	21.7	124.3	13.8
	エネルギー転換	14.8	15.8	15.3	2.4	13.5	▲8.6
	計	708.1	756.6	742.1	4.8	686.5	▲3.1
非エネルギー起源CO ₂ 等	34.6	44.8	45.4	1.3	40.5	0.7	
代替フロン等3ガ	51.7	38.2	27.6	▲3.0	27.0	▲3.1	
森 林 吸 収	-	-	▲7.4	▲0.9	▲7.4	▲0.9	
合 計	794.3	839.5	807.7	1.7	746.6	▲6.0	